

手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）

日時：2016年6月25日（土）10:00～12:00

場所：手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと

参加対象、参加人数小学生以下は親子参加。

大人16名、子ども50名、合計66名、
スタッフ15名(うち1名は講師)の81名



2016年度第1回手賀沼親子自然観察会～手賀沼用水路で魚とり!

今年も元気に
開催しました!!

2016年6月25日(土)、今年度第1回目の「手賀沼親子自然観察会～手賀沼用水路で魚とり!」を開催しました。天候の荒れた1週間で直前まで開催が危ぶまれましたが、午前7時半過ぎ現在で雨も降らず、足場も悪くなったため、開催に踏み切りました。結果的には雨が降り出したのがイベント終了数時間後と天候が持ち、よい観察会になりました。



今年も講師は科学ジャーナリストの柴田佳秀さんです。手水研代表からの挨拶のあと、まず柴田先生からモンドリ(かご網)の仕掛け方、手持ち網の使い方を教わります。先生の「一番ダメなこと何だかわかる? 適当にやることだよ。適当に網でガサガサやったら、魚はいなくなっちゃうよ。一生懸命やってね」という言葉に、みんな真剣に聞き入ります。

次に、1家族1つのモンドリを持って、沈める場所を探しに出かけます。
約30分後を楽しみに集合場所に戻り、いよいよ手持ち網でのお魚とりです。今年は昨年よりもっと魚種が少なく、とれた魚の数も少なかったけれど、みんな一生懸命網を使い、お魚とりを楽しみました。



リピーターも増え、中にはあなどれない手つきの親子さんも !

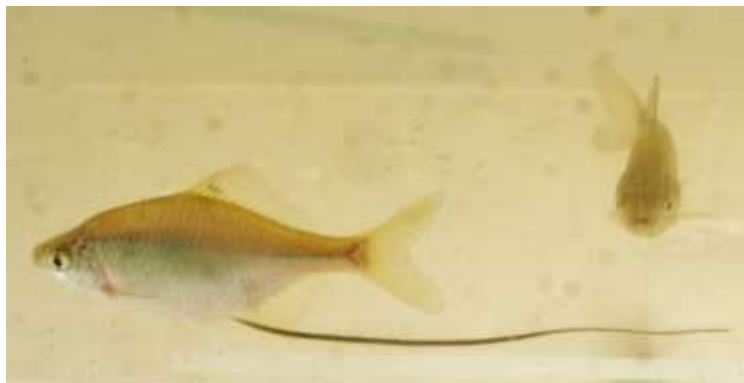


その後、モンドリ網を引き揚げましたが、モンドリにほとんど魚が入らなかったことにスタッフも大ショック。今までで初めてのことでした。今年は例年より早く観察会を開催したので、時期が悪かったのでしょうか。原因は不明です。



ちょっとがっかりしたものの、子どもも大人もスタッフと一緒にとれた魚の仕分けをしたり、自分のとった魚を観察したり、用水路の横でにぎやかな時間が過ぎます。そして、柴田先生が今日とれた生きものをひとつずつ取り上げて解説してくれて、イベントは終了となりました。熱中症が出るのではとヒヤヒヤした去年に比べると、かえって暑すぎず、この時期としては理想的な観察会日和でした。

来てくださった皆さん、どうもありがとうございました！ 今年も受付数時間で満員となったため、来ていただけなかった皆さん、ごめんなさい！



タイリクバラタナゴ ♀



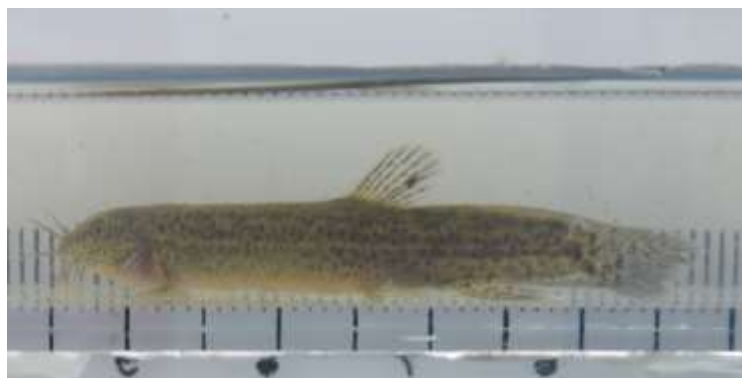
ヌマチチブ



フナの稚魚を捉えたハイロゲンゴロウの幼虫



ウキゴリ



カラドジョウ



ミナメダカ ♀



ハイロゲンゴロウの幼虫



ウシガエル



シナヌマエビ



最近めっきり多くなり、水路での優占種になった。

来てくださった皆さん、どうもありがとうございました!
今年も受付数時間で満員となったため、来ていただけなかった皆さん、ごめんなさい!